



(セイフティ・アンサー)

製品活用事例

第2版 平成27年12月15日

SafetyAnswer(セイフティ・アンサー)は、
自分のアドレスを相手に知られずにメールに返信できたり、届くメールの送信者の
メールアドレスを匿名化することで、個人情報を守ることを目的としたシステムです

Inter-Individual Mail Solution System **XES/IMS**



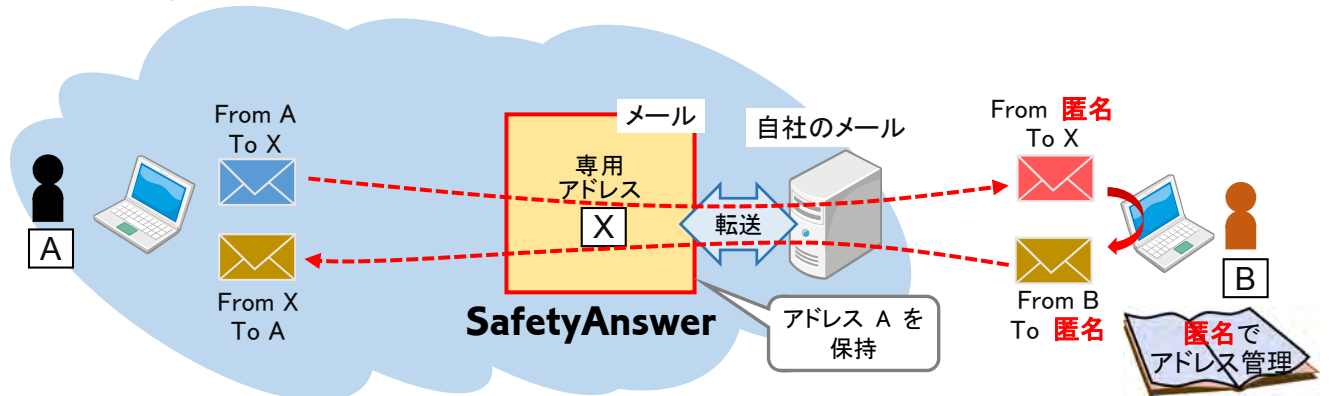
1. 受信メールアドレス匿名化(Incoming Protection)の利用例

個人や企業からのメール連絡や問い合わせを受ける機会の多い企業で、受け取ったメールの送信者アドレスの情報漏えい対策を確実にしたい場合に、効果を発揮します。

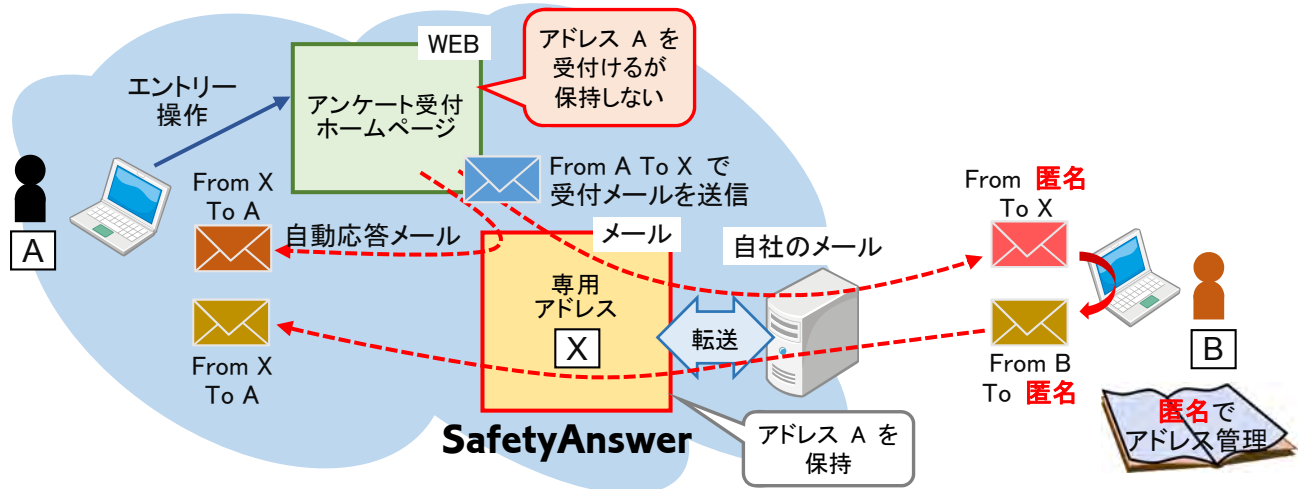
① 消費者向けのアンケート収集や問い合わせの受付

メールを使ってアンケートや問い合わせを匿名で受理でき、匿名の相手に正確に返信できます。

・メールで直接受信・返信



・ホームページから受付してメールで返信



SafetyAnswer を利用するには、専用アドレス(公開アドレス)が必要になります。

専用アドレスは、弊社の提供するドメインから取得したメールアドレス、弊社で運用する独自ドメインのメールアドレスまたは、弊社以外が運用するメールアドレスが利用可能です。

(但し、弊社以外が運用するメールアドレスに関しては、連携が困難な場合もあります)

② 企業の求人活動

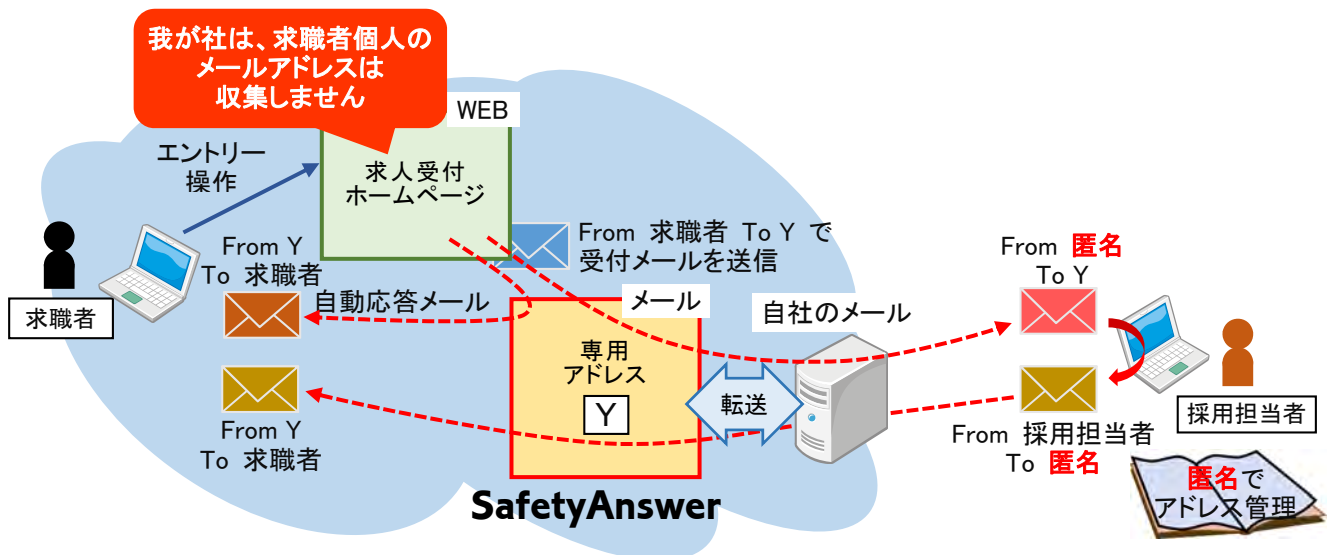
求職者から届くメールの送信者アドレスを匿名化することにより、個人情報(メールアドレスのみ)を収集せずに、求職者本人とメールでの連絡が取り合えます。

メール利用が当たり前となった就職活動ですが、求人する側の企業も収集した求職者のメールアドレスの管理に、細心の注意を払うことを要求されます。

採用担当者の PC に残った求職者のメールアドレスは、完全に破棄されない限り、盗み見られて漏えいする危険にさらされています。その様な情報漏えいのリスクを負っているのが現状です。

「我が社は求職者個人のメールアドレスは収集しません」と宣言して SafetyAnswer を利用して求人にあたることで、企業が負うリスクを大幅に軽減することができます。

求職者個人のメールアドレスを企業は最初から直接収集することなしに、採用活動が可能になります。また、採用に至らなかった求職者のメールアドレスも、採用担当者の PC からメールを送信する以外にメールを送ることができない為、盗用される心配もありません。



③ 登録会員とのメール連絡

例えば人材派遣業で、登録スタッフとの連絡メールアドレスを匿名化して個人情報を守ります。

自社へ届くメールの送信者アドレスを全て匿名化できて、匿名化されたメールアドレスへ正確にメールを返信できます。さらに、匿名化されたメールアドレスは、メールを受信した人だけが使える専用のアドレスなので、仮に持ち出されて他の PC などから送信しようとしても、メールを送ることはできません。

企業内に蓄積される顧客メールアドレスの情報漏えいリスクを、完全に回避する手段を提供するのが **SafetyAnswer** です。

2. 顧客メールアドレス漏えい対策(Enterprise Protection)の利用例

～標的型メール攻撃の被害拡大を防ぐ～

SafetyAnswer はインターネットへ公開されているメールアドレスへ届いたメールを、社内ネットのメールアドレスへ転送します。社内ネットのメールアドレスへ届く外部からのメールは、送信者アドレスが匿名化されて届きます。顧客メールアドレス漏えい対策

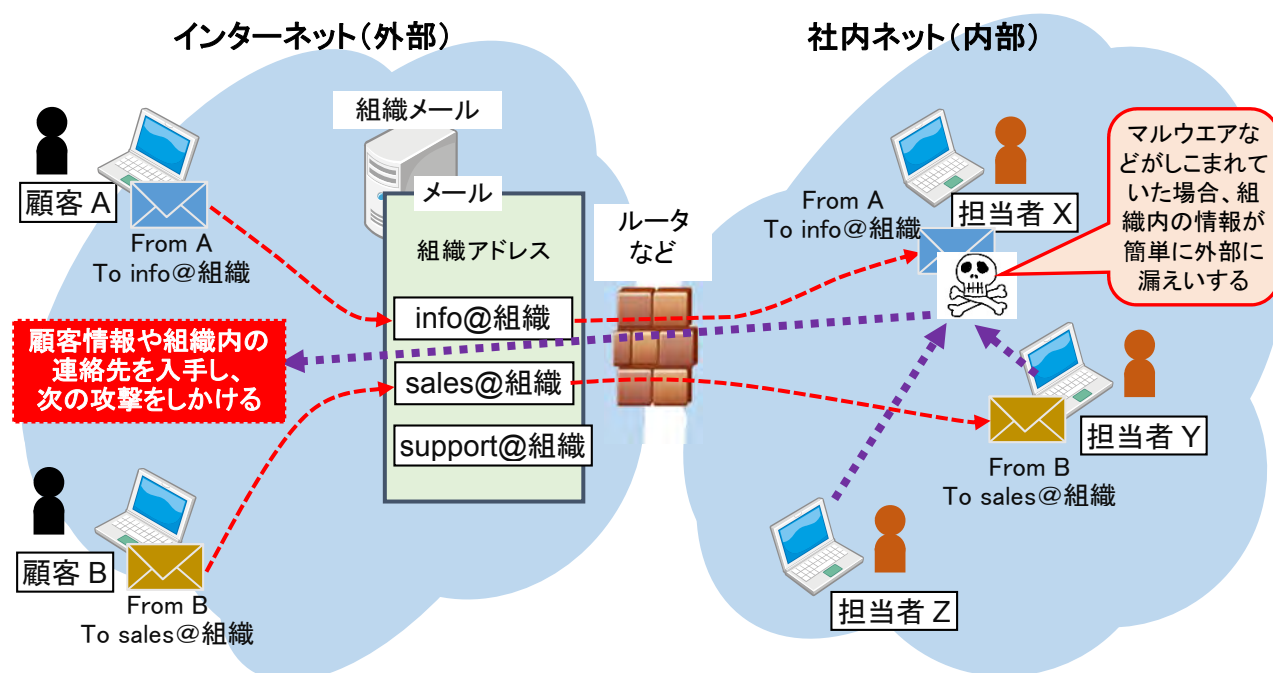
送信者のアドレスが匿名化されたメールを受信した利用者は、匿名化されたアドレス宛にメールを送信することで、**SafetyAnswer** によってメールの宛先が元々のメール送信者のメールアドレスに戻され、正確にメールの送信者へメールが送信されます。

外部から届くメールの送信者アドレスを匿名化することで、社内ネットで外部からのメールを受信する利用者は、メール送信者の実際のメールアドレスを知らずにメールを受け取り、メールを返信することができます。さらに、このメール送信者の匿名化されたアドレスは、メールの受信者個人のアドレス専用割り当てられたメールアドレスであって、メールの送信者へ返信ができるのは、メールを受信した本人に限定されます。

① 一般的なメール利用形態

組織で運用するメールアドレスを使って、直接担当者が自身の PC でメールを受信・送信します。担当者の PC には、顧客のメールアドレスが蓄積され、常時情報漏えいの危険にさらされています。

標的型攻撃の対象となりマルウェアなどが侵入した場合、自身の PC に蓄積されている顧客のメールアドレスのほか、組織内の PC のメールアドレスも漏えいし、二次、三次の攻撃の対象となります。



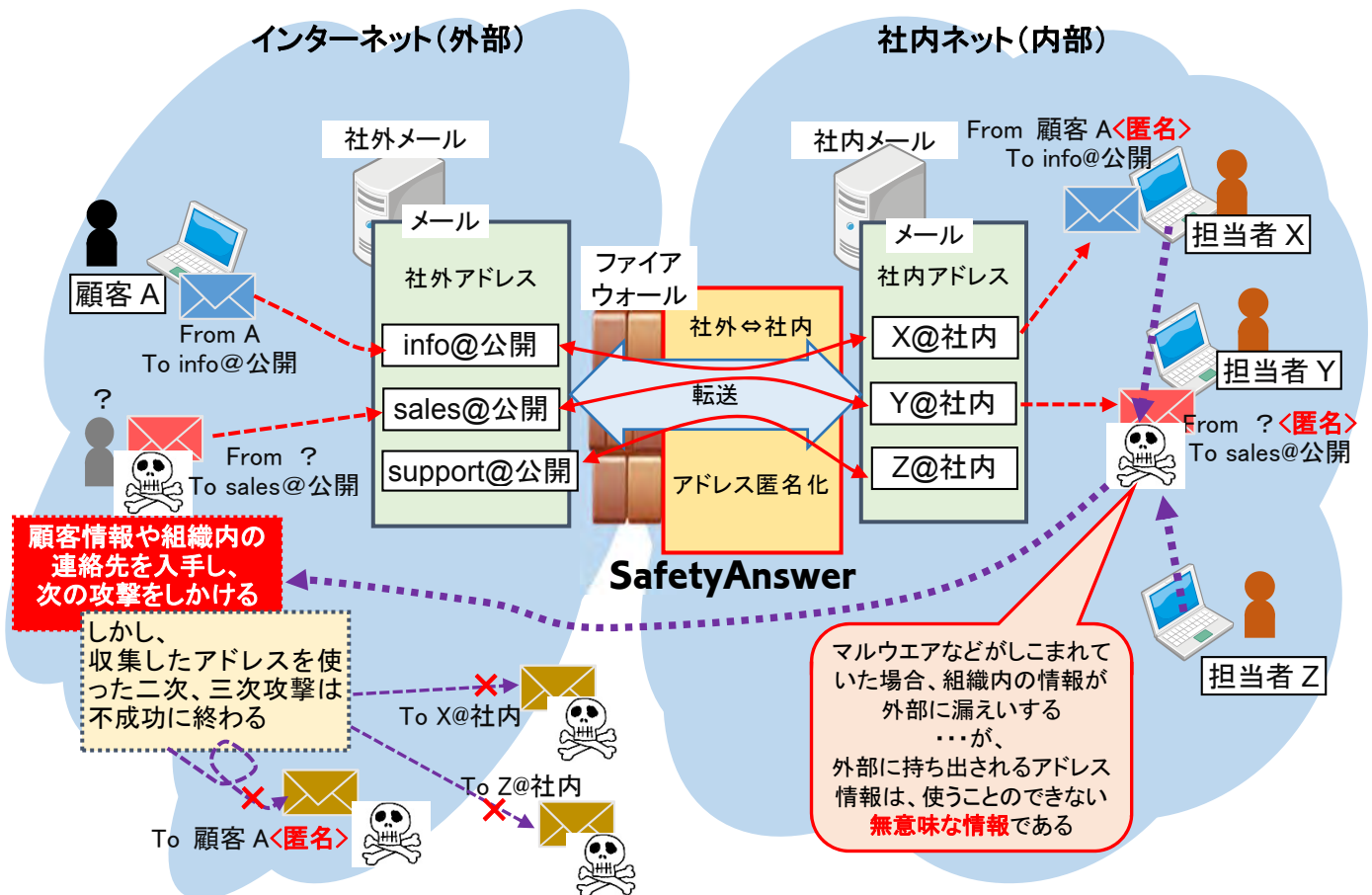
※ 組織メールサーバは、ISP のクラウドサーバなどを利用した例

② 社内と社外をメールアドレスで分離

ファイアーウォールの内部に、社内ネットだけで利用できるドメインを使用したメールシステムを運用します。

外部から届くメールは、**SafetyAnswer** が内部ドメインの担当者へ転送すると同時に、送信者のアドレスを匿名化してメールを届けます。

担当者が顧客へメールを送信する場合は、自分専用に匿名化された顧客のアドレスへメールを送信することで、**SafetyAnswer** が正確に顧客の本当のメールアドレスへメールを送信します。



たとえ社内の PC がマルウェアに感染し、顧客のメールアドレスや社内のメールアドレスが外部へ漏えいしたとしても心配はありません。

SafetyAnswer によってアドレスが匿名化されている顧客へはメール送ることはできません。

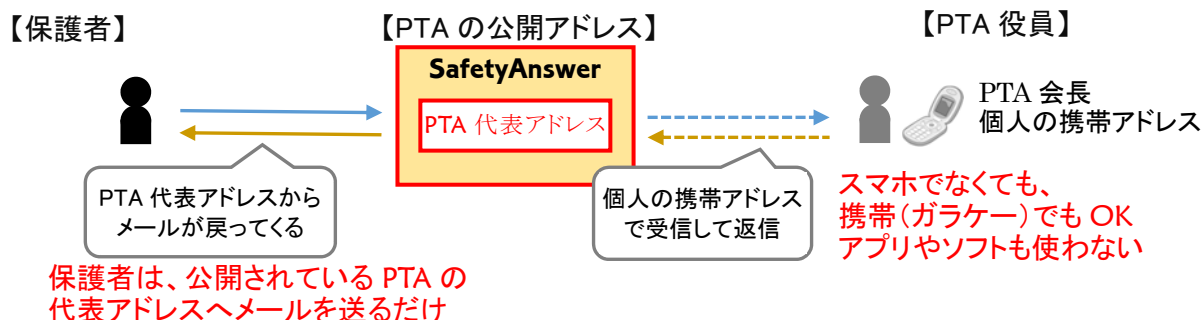
また、社内の利用者に対して、外部から直接メールを送信することができません。

これにより、**メールを使った二次、三次の侵入を防ぐ**ことができ、標的型メール攻撃の被害拡大を止める効果を発揮します。

3. PTA 向けメール連絡網(PTA Protection)の利用例

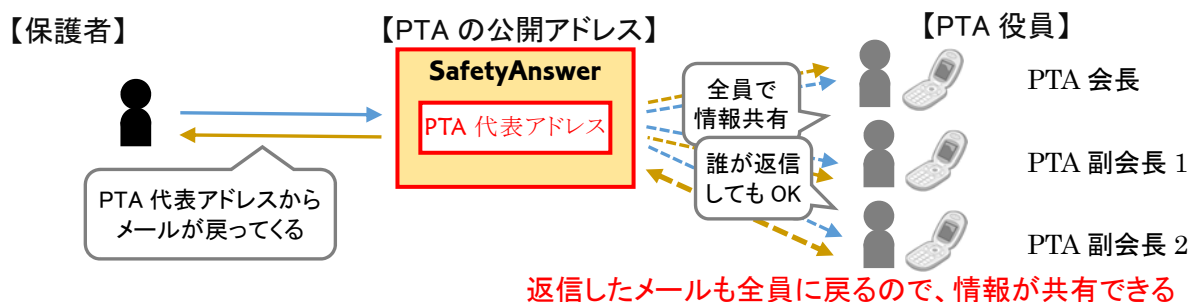
① 役員が、個人のメールアドレスを非公開にして、保護者と連絡

PTA の役員や委員になると、多くの人と連絡をとる必要から、自分のメールアドレスを公開することを要求されます。そんな時、**SafetyAnswer** で新規のメールアドレスを取得して PTA 役員の連絡窓口として周知することで、個人のアドレスを多くの人に教える必要がなくなります。



② 役員で、受信メールを共有して、返信したメールも共有

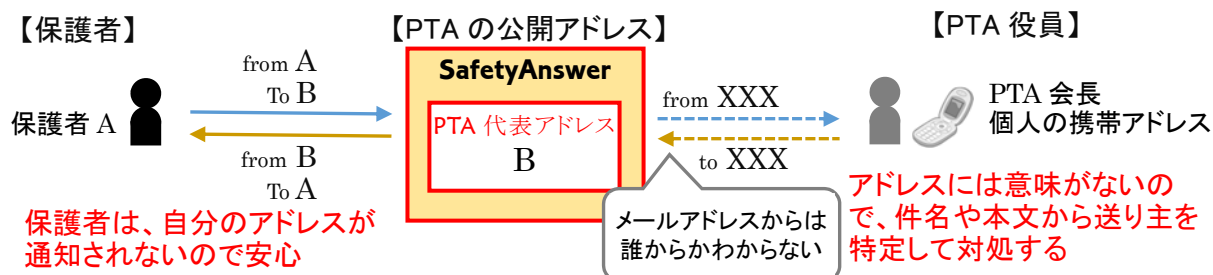
一つの公開アドレスから複数の転送情報を設定することで、役員間での情報共有が可能です。返信メールも「自身にも転送」を設定することで、誰が返信しても全員で共有できます。



③ 保護者から届くメールは、送信者のアドレス非通知でメールを受信(匿名メールアドレス)

PTA の公開アドレスへ届くメールのアドレスを非通知にすることができます。アドレス非通知として届いたメールの送信者アドレスは、任意に生成された意味のない値となります。このアドレスへの返信は、受信した本人からしか受け付けられませんので、外部へ漏えいしても悪用される心配は 100%ありません。

届く全てのメールを非通知とすることも、保護者の意思で個別に非通知にすることも可能です。例えば件名の最初に「184」と付加した場合のみアドレスを非通知にするなどの設定ができます。



※加入電話の番号非通知サービスは、かかってきた電話に返信できませんが、**SafetyAnswer** のアドレス非通知メールは、送信者へ返信できます。

④ 少ない登録作業で運用を開始、年度の切り替えも簡単

SafetyAnswer でメールアドレスを取得したら、役員の個人アドレスへメール転送する設定だけで運用を開始できます。

多数の保護者のメールアドレスを登録する作業なども、まったく必要ありません。

PTA の役員や委員は毎年代わるため、今までならば、専用を取得したメールアドレスを使う場合は、毎年パスワードを変更したりメールアドレスを変更したりするなどの作業が必要になります。

SafetyAnswer のアドレスを利用すると、毎年選任される役員や委員の個人アドレスを転送情報として登録し直すだけで、新年度の役員連絡先の登録が完了します。そして、転送先の情報を一旦削除することで、宛先へ送信された履歴情報(非通知として保存されている送信者の情報を含め)も全て削除されるので、年度の切り替え時などの作業は、転送情報の再登録だけで容易に実施できます。

そのため、保護者へ周知する窓口のアドレスは、毎年変更せずに継続して利用する運用が簡単に実現できます。

⑤ 登録ハードルの低い、メール一斉配信システム

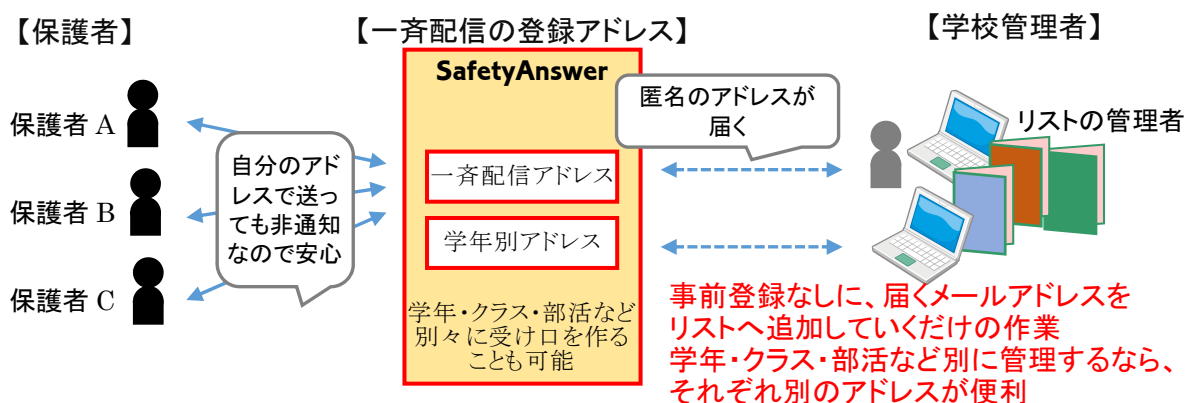
多くの学校で取り入れられているメールの一斉配信ですが、導入・運用のネックとなる点は、保護者の登録割合の低さと、登録メールアドレスの管理の負担の大きさにあると考えられます。

SafetyAnswer を利用すると、登録する保護者のメールアドレスは全て匿名化することができ、保護者の登録ハードルは低くなります。また、メールの送受信だけで手続きが終わりますので、保護者が WEB へアクセスしたりする必要はありません。

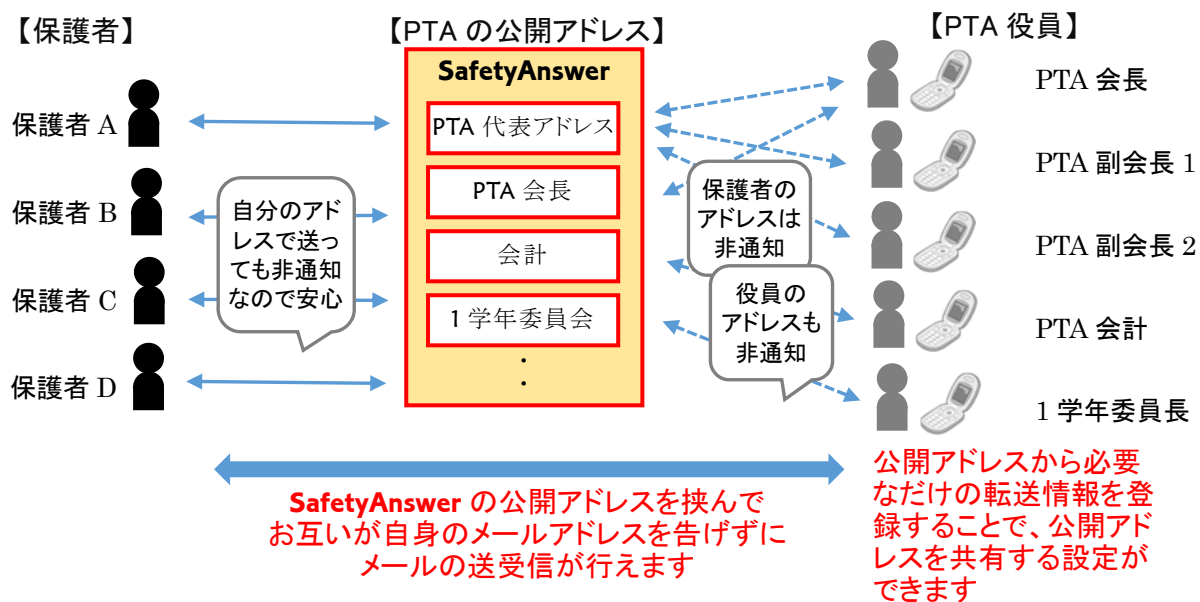
一斉配信リストを管理する学校側は、届く登録メールに記載された学年、クラス、氏名などをもとに、必要な配信リストを作成します。

既存のメール一斉配信システムとは違い、事前に学年別、クラス別などのグループ管理をする必要がなく、保護者から届く匿名化されたメールアドレスを使ってリストを作成するだけになります。また、収集したリストは、外部へ持ち出されてもまったく利用価値のない物なので、管理も容易になります。

年度の切り替え時には、一斉配信アドレスからの転送情報を一旦削除することで、保護者から収集した匿名の連絡先アドレスを無効化してリセットすることが容易にできます。



「学校 PTA での利用例」



ご利用開始は、 <http://www.ans.email>

株式会社 **エクセス** 

<http://www.xes.ne.jp>

〒179-0085 東京都練馬区早宮 1-18-15

<mailto:info@xes.ne.jp>



SafetyAnswer (セイフティ・アンサー)は、株式会社エクセスの登録商標で、特許出願中です